

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 岐阜県定時制通信制教育振興会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3548)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 1,000 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|----------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| 要求額 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| 決定額 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

定時制通信制教育は、従来の勤労青少年の教育の場という面に加え、社会や生徒たちの変化に伴って、多様な背景を抱える生徒の「修学の支援と学びの再チャレンジの場」としての役割を担っている。このような状況において、近年、定時制通信制高等学校を選択する生徒の数は増加傾向にある。

岐阜県高等学校定時制通信制教育振興会は、定時制通信制教育に関する調査研究、施設設備の充実促進など、定時制通信制教育の普及及び振興に関する事業を実施している。

(2) 事業内容

教育の機会均等の本義に立脚し、高等学校定時制及び通信制教育の普及・振興を図るため、振興会で実施する以下の事業を対象に補助金を交付する。

1 奨励

資格取得、皆精勤表彰、定通生徒生活体験発表会、定通体育大会 他

2 研究助成

中部地区通信制研究協議会 他

3 刊行

生活体験発表会の収録誌「輝く青春」刊行、研究団体の成果を「岐阜県の定通教育」として刊行

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|----------|
| 補助金 | 1,000 | 振興会への補助金 |
| 合計 | 1,000 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針2 多様な学びを支援する教育体制の充実

目標8 学びのセーフティネットの構築と学びの再チャレンジの推進

(2) 県民・関係団体からの意見反映

- ・岐阜県高等学校定時制通信制教育振興に関する教育長要望

(令和2年8月20日 岐阜県高等学校定時制通信制教育振興会 提出)

要望事項

振興会に対する補助金については、各事業が円滑に運営できるよう今年度と同額以上の継続助成をお願いしたい。

県単独補助金事業評価調書

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

| | |
|-----------|--|
| 補助事業名 | 岐阜県定時制通信制教育振興会補助金 |
| 補助事業者（団体） | 岐阜県高等学校定時制通信制教育振興会 （理由）県内定時制通信制高校へ通う生徒の支援を実施している団体のため |
| 補助事業の概要 | （目的）振興会が実施している事業の運営を補助することで、定時制通信制教育の振興を図る。 （内容）定通教育研究会、定通生徒生活体験発表会、皆精勤表彰、資格取得推進事業などを実施 |
| 補助率・補助単価等 | 定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）定時制・通信制教育の振興を図るため （理由）予算の範囲内 |
| 補助効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様化に対応する指導の研究の実施 ・生徒の学習、進学、就職等への支援の充実 ・定時制通信制課程をもつ高校と企業の連携強化 |
| 終期の設定 | 終期 令和5年度 （理由）振興会は昭和23年に発足以降、産業経済界及び教育関係者の協力により定時制通信制教育の振興や生徒の支援に取り組んでおり、進路指導などを補完する役割を果たしている。 |

（事業目標）

| |
|---|
| <p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>教育の機会均等の本義に立脚し、勤労青少年をはじめとした多様な生徒が通学する高等学校定時制及び通信制教育の普及・振興を図る。</p> |
|---|

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (H28年度末) | 目標 (R3年度末) | 目標 (終期) |
|-----------------|-------------------|---------------|------------|
| ①「岐阜県の定通教育」発行部数 | 300冊 | 320冊 | 320冊 |
| ②資格取得支援推進事業支援率 | 100% | 100% | 100% |

| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 (要求) |
|---------|-------|---------|---------|------------------|------------------|
| 補助金交付実績 | 900千円 | 1,000千円 | 1,000千円 | (予算額) 1,000千円 | (要求額) 1,000千円 |
| 指標①目標 | 300冊 | 300冊 | 320冊 | 320冊 | 320冊 |
| 指標①実績 | 300冊 | 900冊 | 320冊 | (推計値) 320冊 | (推計値) 320冊 |
| 指標①達成率 | 100% | 281% | 100% | (推計値) 100% | (推計値) 100% |
| 指標②目標 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |

| | | | | | |
|--------|------|------|------|---------------|---------------|
| 指標②実績 | 100% | 100% | 100% | (推計値) 100% | (推計値) 100% |
| 指標②達成率 | 100% | 100% | 100% | (推計値) 100% | (推計値) 100% |

(前年度の成果)

| |
|-------------------------------|
| 1 定通生徒生活体験発表大会の開催と収録誌の刊行 |
| 2 各種研究団体の研究成果を「岐阜県の定通教育」として刊行 |
| 3 各種助成（資格取得支援推進事業等）により定通教育の振興 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>多様な課題を抱える生徒や発達障がいと思われる生徒、外国籍の生徒が増加しており、それぞれの生徒にあった支援等の細やかな対応が不可欠である。</p> |
|---|

(事業の評価)

| | |
|---|---|
| <p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>○：必要性が高い、△：必要性が低い</p> | |
| (評価) | <p>○</p> <p>産業界との連携により、定時制及び通信制教育の充実と振興を図り、勤労青少年のみならず、高校中退者や不登校経験者などの多様な生徒の教育を充実させるため、不可欠である。</p> |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている</p> <p>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p> | |
| (評価) | <p>○</p> <p>県内定時制及び通信制教育の充実を図る取組を継続することにより、修学支援と学びの再チャレンジの推進に努めるなど、定時制及び通信制教育の充実が進んでいる。</p> |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p> | |
| (評価) | <p>○</p> <p>振興会において経費節減を図り、効果的な会運営に努めている。</p> |

(事業の見直し検討)

| |
|---|
| <p>多様な課題を抱える生徒や発達障がいと思われる生徒、外国籍の生徒が増加しており、それぞれの生徒にあった学習支援や就労支援、進学支援等の細やかな対応が不可欠であり、振興会が実施している事業や研究助成などの役割は大きく、今後も安定した事業運営が継続するよう県の支援が必要である。</p> |
|---|

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

| |
|---|
| <p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由) 近年の定時制・通信制教育は勤労青少年のみならず、高校中退者や不登校経験者等の多様な生徒を受け入れており、その重要性や県民ニーズは増大している。今後も事業や研究助成等を行うことで、学びの再チャレンジの学習支援を充実させる必要がある。</p> |
|---|